



WEEKLY REPORT

2008-2009 No.27 2009年1月29日

会長◆鈴木安之 会長エレクト◆臼井 浩 副会長◆矢部房男 村田典昭
 幹事◆三宅 謙 SAA◆桐田吉彦 会計◆市川 浩 ◇広報委員長：石田 隆
 E-mail: zushirc@sage.ocn.ne.jp Website: http://www.zushi-rc.com/
 例会日・第1・3木曜日 12:30~13:30 第2・4木曜日 18:30~ 第5木曜日 18:00~
 例会場・逗子市新宿 1-3-35「カンティーナ」 TEL: 046-870-6651
 事務所・逗子市逗子 1-9-26 萬屋ビル 2F TEL&FAX: 046-873-0226

本日の進行(18:00)

職業奉仕フォーラム

一次回のお知らせ

2月5日(木)(12:30)

赤石 節雄氏

「海上保安庁の概要と横須賀海上保安部の諸活動」

◀ 第 2285 回 例会記録 2009 年 1 月 22 日 ▶

出席報告	会員数 43 名(出席免除 6 名)	出席数 19 名	出席率 51.35%	前回修正出席率 78.38%
ゲスト	八木正幸氏 (株)浜銀総合研究所 理事)			

■ 会長 談 話 鈴木 安之 会長

本日は浜銀総合研究所の八木様をお迎えしています。地域での賀詞交換会や武道始などがあり、例会への出席者が少なく寂しい限りですが、八木様の素晴らしいお話を聞きこれからの糧にして頂きたいと思えます。

さて、昨日のオバマさんの就任の挨拶を聞きましてアメリカは凄いなと思います。一人一人が国のために何が出来るか、又2党が一体となって考え動くとしています。対して日本は将来どうしようとしているのか、考えが見えてこず、困ったものです。

シンガポールは、一党独裁ですが、リーダーが明確に国家戦略を持っています。グローバル化したきれいなチャンギ国際空港があり、高速道路のアクセスは良く、金融システムもすごい。教育の水準は高く、国際競争力は世界2位です。水は独立以来、マレーシアから買っていますが、日本の高度濾過技術を導入して国内の水需要を賄おうとしています。日本にはこのような世界一の技術があるのでそういったものをどんどん輸出していったら良いと思います。

■ 報 告

第 13 回中高生ディベート大会開催 1月24日(土)10時~ 於：逗子市役所会議室 協賛：逗子 RC

論題：中学生の部「日本は食料の国内自給率をカロリーベースで 50%以上に高めるべきである。」是か非か？

- 1 位：久木中 A 2 位：逗子中 A
- 3 位：久木中 C

三宅幹事報告：*ROTEX との懇談会(ルイス君)2/17 *第 2G 会長幹事会 1/26
 *2月ロータリーレート 1ドル 88円



■ ニコニコ BOX (24,000円)

鈴木(安)君…新年会、親睦活動委員会の皆様ご苦労様でした。

矢部(房)君、市川君、矢部(光)君、渡邊君…八木様、スピーチよろしく。

三宅君…賀詞交歓会のピークですが、飲み過ぎにご注意を!!

高橋君…八木理事、卓話よろしくお願ひします。

山本(由)君…八木様、卓話よろしくお願ひします。

横山君…お久しぶりです。

山口君、福嶋君、湊屋君…遅れました。

菊池君…今日は3つ掛け持ちで、賑やかでした。

安藤君、桐田君…日本の政治家と米国の政治家を比べると日本サイドはレベルが低いです。

橋(武)君…ショベルカー 今日の現場は ATM

ニコニコ BOX 本日合計 ￥ 24,000

累計 ￥ 1,064,000+



(株) 浜銀総合研究所 理事

昨年は、あの米国発のサブプライムローン問題に端を発する景気減速の懸念が、秋口のリーマン・ショックを契機とした株価暴落と金融危機により、極めて深刻な形で現実のものとなりました。

世界的な株価暴落とともに、経営者や家計の心理に代表される景況感も急速に冷え込みました。とくに神奈川県においては、全国のなかでも際立った悪化を見ました。理由は、本県が、自動車や電機など輸出で稼ぐ機械工業の集積が他地域に比べて進んでいることがあります。海外経済が好調で輸出が日本経済を引っ張ってきた先の景気拡大局面では、神奈川県は全国のなかでもトップクラスの高い景気水準にありました。ところが、最近の米国も欧州も、BRICsも、世界景気が総崩れとなつたいまでは、円高の進展も相まって、成長の歯車が逆回転しはじめたと言えるでしょう。

新年の神奈川県経済の動きを占う上での注目点は、世界経済の行方、とくに米国経済の先行きがどうなるかでしょう。その点、キーとなる経済指標は雇用です。というのも、米国経済の強さはGDPの7割を占める個人消費に左右されるところが大きく、雇用の良し悪しが家計の消費の強さ決めるからです。

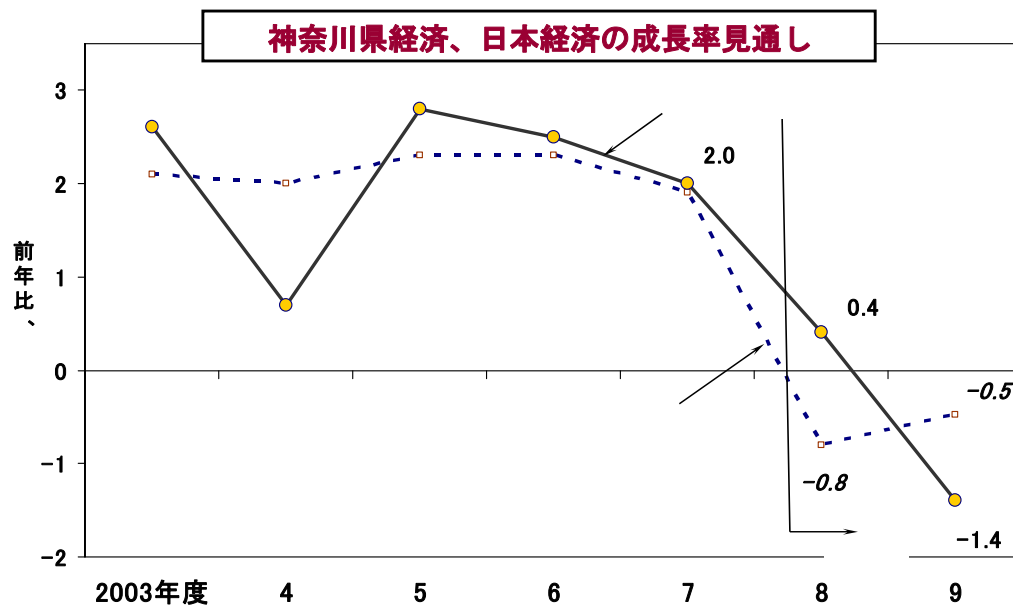
残念ながら、最新の雇

用の数字は、米国経済見通しに冷水を浴びせるような厳しいものでした。主要なエコノミストの米国経済に対する予想も、2009年は▲1.1%と極めて慎重な数字となっています。世界銀行による見通しも2009年の世界経済の成長率は+0.9%と、世界同時的な景気後退の境界線といわれる3%を大きく下回っています。

浜銀総研では、日本経済の実質経済成長率を2008年度▲0.8%、2009年度▲0.5%、神奈川は順に+0.4%、▲1.4%と見ています。

この1両年は、我慢の年となりますが、中長期的な経済・社会の課題克服を念頭に、新しい成長を実現するための技術開発や経営革新を粛々と進めることが重要でしょう。環境・エネルギー問題に対応した技術開発など、そうした面では、神奈川の産業の底力は多に発揮されると思われます。

2009年度はマイナス成長となる神奈川県経済



コラム

オバマ新大統領の就任式は、米国はもとより世界中の注目の下に行われた。日本では真夜中であったがNHK番組の視聴率は5%を超えたという。

“Change”という言葉と共にオバマ氏がよく用いたのは“*Yes, we can!*”である。我々日本人が人を励ます際、「頑張って!」という言葉が頻りに用いるが、該当する英訳の一つに“*You can do it*”があり、これに添えて励まされた人は“*Yes, I can*”と云う。

100年に一度といわれる世界同時不況の中で、我々ロータリークラブも出席率向上、会員増強、資金集めなど運営上多くの課題に立ち向かう年になると思われるが、オバマ大統領に習って“*Yes we can*”で臨みたい。ロータリークラブは不況の最中、シカゴに誕生したことを思い起こして。 会報編集委員 臼井 浩